



●巻頭インタビュー



パスカル・ヴェロさん  
フランス共和国リヨン市出身  
仙台フィルハーモニー管弦楽団  
常任指揮者

フランス人指揮者から見た 日本・日本人・仙台フィル

みやぎの国際情報誌「倶楽部MIA」は、2002年5月の創刊よりみなさまに支えられてまいりましたが、今号(2010年8月号)をもって50回目の発行となりました。第50号を記念して、今回は仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者のパスカル・ヴェロさんにインタビューをしました。

ヴェロさんは、世界的な指揮者のご多分にもれず世界各地を飛び回っていらっしゃいます。インタビューの前日までは仙台国際音楽コンクールでの指揮を務められ、インタビュー翌日は朝一番の移動でフランスにお帰りになるというハードスケジュールの中、予定の1時間を超えて熱心にフレンドリーに、そしてときおり日本語を交えながらお話を聞かせていただきました。

——来日のきっかけは何でしたか。

日本は1985年に初めて来ました。私は当時コンセルヴァトワール(パリ国立高等音楽院)を卒業したばかりで、キャリアも何もありませんでしたので、腕試しと思って日本の民音指揮者コンクールを受けました。ドイツで行われた予選を連発く通過して、6月の末に日本に来ることになりました。

——初めての日本の印象はいかがでしたか。

来る前は失礼ながら、「日本人はみんな似たような顔をしている」ほどのイメージしかなくて(来てみたらいろんな日本人がいました(笑))…私は、すでに結婚して子どもが二人いましたし、渡航費用は両親から借りていたため「日本には観光に行くんじゃないよ!と、家族からきつく言われていました。実際、私にとって大きなコンクールでしたから、宿泊先では一日中スコア(オーケストラの総譜)を勉強していました。でも、飛行機の中で知り合った日本人にホテルのお世話をしてもらいましたし、日本人にはすごく良くしてもらいました。地下鉄が複雑で移動にはかなり神経を使いましたよ(笑)。

——その甲斐もあって民音コンクールでは第3位と齋藤秀雄特別賞を受賞されましたね。小澤征爾さんとおつきあいはそこからでしょうか。

実は、コンクールで小澤さんが審査員をされていたことも知りませんでしたし、恥ずかしながら小澤さんのキャリアもよく知らなかったのです。当時、小澤さんはボストン交響楽団の音楽監督をされていましたが、コンクールのおかげで私にはボストン響の副指揮者のポストが与えられました。

副指揮者の仕事の一つに、定期演奏会の練習のアシスタントをするということがあります。私は、ある日ドビュッシーの「海」の練習をしていて、ある場面でフレッシュエンドを要求するためにかなりオーバーなアクションで手をぶんぶん振り回していました。振り終わってふと我に返るとオーケストラメンバーの雰囲気は何となく変でした。何事かと振り返ると、小澤さんがそこに立っていました。その場では何も言いませんでしたが、そのあとの楽屋で小澤さんは「音楽には適切な動きがあると思う。あそこの部分をシャルル・ミュンシュ<sup>※1</sup>はこうやっていた…私ならこうやる…」と丁寧に教えてくださいました。いわゆる友人のような関係ではなく、プロフェッショナルなつきあいをさせていただきました。

また、小澤さんは自分の練習や本番についての意見をよく私たちアシスタントに求めてきました。でも、小澤さんのパフォーマンスは素晴らしかったので、私には何も言うべきことがなかったのですが…

——日本や日本人とのかかわりも長いですね。

25年ですね。日本は大好きです。唯一、遠いのが難ですね。疲労は怖くありませんけれども。

日本での仕事の質には満足していますし、日本はさりげないサービスが素晴らしいと思います。気を遣ってくれているのですが、重たくないというか…

25年前はパンクの人ぐらいしか髪の色が違う人はいみませんでした。今ほどこの国が一瞬分からなくなります。ひと頃に比べれば個人的になったということかと思いますが、日本はやはり調和を重視する国ですよ。オーケストラの世界もそうですが、もう少し一人ひとりが個性的で創造的であってほしいと思う時もあります。

——仙台はいかがですか。

初めて来たのが2000年、次が2003年。仙台フィル定期演奏会の客演として2度ほど呼んでいただきました。とても面白い街だと思いました。仙台フィルも素晴らしい名手ぞろい。最初はコミュニケーションに時間がかかりましたが、何度かの本番、それに伴う練習を通じてお互いどんどん距離が近づいてきましたし、今は良好な関係にあると思います。

——今後についてお話を聞かせください。

仙台フィルの定期演奏会が10月で250回を迎えます。その記念の演奏会で私はドビュッシーの歌劇「ペレアスとメリザンド」をコンサート形式で演奏します。メーテルリンクの戯曲にもとづく、歌手の声とオーケストラが舞台上で融合する、20世紀の音楽史に輝く素晴らしい作品です。是非お越しいただきたいと思います。

長期的なことと言えば、日本における音楽文化のより一層の浸透でしょうか。フランスにルーアンという小さな街があります。人口わずか10万人ほどの街ですが、その街のオペラ座の会員が1万人以上います。街のどこを見渡してもチラシなど見当たりません。一方、日本はどうでしょう。仙台フィルもいろいろな取り組みをして努力していますが、定期演奏会のホール800席を毎回満席にすることもなかなかたいへんなことです。ヨーロッパと日本を一概に語ることはもちろんできませんが、日本の音楽文化のためにも微力を尽くしたいと思います。

※1 フランス出身の指揮者(1891年~1968年)。ボストン交響楽団常任指揮者、パリ管弦楽団音楽監督などを歴任。小澤征爾を指導したことで知られる。



## 6日

## MIA日本語講座 秋コース(初級1・2)

※授業は火曜日から金曜日の週4回。  
12月15日まで。

財団法人宮城県国際交流協会  
宮城県仙台合同庁舎7F  
10:00~12:00  
電話・FAX・Eメール  
16,500円(テキスト代別)  
022-275-3796  
022-272-5063  
mia@k2.dion.ne.jp

## 7~12日

日独交流150周年記念事業 オイレンブルク  
伯日本遠征・ドイツ人絵師による日本風景画展

仙台日独協会  
宮城県美術館県民ギャラリー  
9:30~17:00  
不要  
無料  
022-296-2111(仙台日独協会事務局)  
022-296-2121(仙台日独協会事務局)  
y11281@yurtec.co.jp

## 8日

## MIA日本語講座 秋コース(中級)

※授業は水曜日と木曜日の週2回。12月9日まで。

財団法人宮城県国際交流協会  
宮城県仙台合同庁舎7F  
13:00~15:00  
電話・FAX・Eメール  
7,800円(テキスト代別)  
022-275-3796  
022-272-5063  
mia@k2.dion.ne.jp

## 9日

## アフリカ・母親について考える

アフリカ・セミナーの会  
戦災復興記念会館  
10:00~12:00  
不要  
無料  
022-362-7907

## 10日

## MIA日本語講座 秋コース(漢字1・2)

※授業は金曜日の週1回。12月10日まで。

財団法人宮城県国際交流協会  
宮城県仙台合同庁舎7F  
13:00~15:00  
電話・FAX・Eメール  
9,600円  
022-275-3796  
022-272-5063  
mia@k2.dion.ne.jp

## 15日

申請取次行政書士による外国人のための入  
手続無料相談会

宮城県行政書士会  
※8月18日と同じ

## 17~26日

## 杜の都のビール祭り

## 仙台オクトーバーフェスト2010

仙台オクトーバーフェスト実行委員会  
錦町公園(仙台市青葉区本町)  
11:00~21:00(火・水・金曜日は16:00~)  
不要  
入場料はいりませんが、売店の商品は有料  
となります  
022-714-8324

## 18~20日

愉快的市場inせきのした  
(国際屋台村にて屋台出店)

国際交流協会ともだちin名取  
仙台空港アクセス線 杜せきのした駅周辺  
高架下  
10:00~20:00  
不要  
080-6034-7965  
050-1169-3537  
tomodachi\_in\_natori@yahoo.co.jp

## 一言PR

## MIA外国人支援通訳サポーター登録前&amp;ブラッシュアップ研修会

MIA外国人支援通訳サポーター(「保健・医療」、「生活相談」)や災害時通訳ボランティアに登録を希望される県民のみならず、および上で上記いずれかにご登録いただいているみなさまを対象とした登録前&ブラッシュアップ研修会を行います。宮城県の多文化共生推進のためにも、より多くの方々のご参加・ご登録をお待ちしています。

日時: 2010年9月5日(日) 14:30~17:30

場所: 仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)B(仙台駅前AER 6F)

内容: 「国際航路「三陸沖」における海上事故の現状と通訳サポーター体験談(仮)」

(株)三陸運輸/MIA保健医療通訳サポーター

・「9・1宮城県総合防災訓練をふりかえって」災害時通訳ボランティア

・宮城県の多文化化の現状とMIAの事業紹介

対象: 新規登録希望者(県内在住の満20歳以上の方で、日本人の場合、外国語が日常会話レベル以上話せる方。外国出身者の場合は日本語が日常会話レベル以上の方)、および既登録者

問い合わせ先: MIA TEL:022-275-3796 FAX:022-272-5063 E-mail: mia@k2.dion.ne.jp

## 開催5周年記念

## 杜の都のビール祭り仙台オクトーバーフェスト2010

## ドイツと日本の文化が交わる10日間。飲み・食べ・歌い、笑顔の花が咲く!

仙台オクトーバーフェストは、ドイツ・ミュンヘンで開催される世界最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」にならって、仙台で開催されるビールイベント。ドイツのビール・ワイン・料理に加え、東北の地ビールと地元の食材を使ったメニューがいっぱい。ステージでは、ドイツ楽団などの音楽に心も弾みます。さあ、ビール片手に、時間を忘れて盛り上がりましょう!

主催: 仙台オクトーバーフェスト実行委員会 後援: 宮城県、仙台市、仙台日独協会、バイエルン州駐日代表部、ドイツ観光局

日時: 9月17日(金)~26日(日)、11:00~21:00(火・水・金曜日は16:00~) 場所: 錦町公園(仙台市青葉区本町)

参加費: 入場料はいりませんが、売店の商品は有料となります。

ホームページ <http://www.oktober-fest.jp> 問合せ先: 022-714-8324(平日10:00~18:00)

## 耳より情報!

ホームページから、お得なクーポン券のダウンロードサービスを予定しています。



## JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

## 映画「BASURA」上映会及び四ノ宮浩監督講演会・パネルディスカッション

フィリピンの巨大なゴミ捨て場の街「スモーカーマウンテン」でゴミを拾って生きる子供たち。貧困の現実、その中でもたくましく生きる子供たちの様子などを描いたドキュメンタリー映画です。四ノ宮浩監督は仙台市出身。パネルディスカッションでは、日本の国際協力の現状や、私たちにできることを考えていきます。

日時: 2010年9月12日(日) 15:30~16:30

会場: せんだいメディアテーク7階 スタジオアター(仙台市青葉区春日町2-1)

内容: 13:30開演、15:20上映終了、その後監督講演会・実行委員及び

JICA関係者を含むパネルディスカッション(予定)

参加費の有無: 無

問い合わせ先: JICA仙台デスク 波塚 TEL: 022-265-2449 E-mail: jicadpd-desk-sendaishi@jica.go.jp



このコーナーでは、MIA宮城県国際交流協会の最近の動きをお知らせいたします。  
いずれの件も、お問い合わせは ☎ 022-275-3796 E-mail mia@k2.dion.ne.jp まで。お気軽にどうぞ。

## 参加者募集! 「MIA日本語ボランティア研修会」

日本語ボランティアの方々のブラッシュアップのための研修会です。  
今年度は、次第に多文化化する社会のなかで、私たちの使う「日本語」がどのような役割を果たしているのか、そして、地域の日本語習得支援で求められているのはどんなことなのか、講義とワークショップを通して考えていきたいと思います。是非ご参加ください。

- 日時 平成22年8月24日(火)10:00~15:00 (休憩1時間含む)
- 会場 エル・パーク仙台 セミナーホール ※141ビル(三越定禅寺通り館)5階
- 対象 県内で活動する日本語ボランティア及び関心のある方
- 定員 50名

- 内容 「わたしたちの“日本語”を見つめ直す  
~互いに学び合う日本語ボランティア活動を目指して~(仮)  
講師:新潟大学国際センター准教授 足立祐子さん
- 受講料 一般:1,000円  
MIA個人賛助会員:500円 ※当日受付の際に会員証をご提示ください。
- お問合せ・お申込み 宮城県国際交流協会(MIA)  
TEL 022-275-3796 FAX 022-272-5063  
E-mail mia@k2.dion.ne.jp

## ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

### 『外国人と対話しよう! にほんごボランティア手帖』 発行: 凡人社

地域に暮らす外国人の日本語習得の手助けをする「日本語ボランティア」。県内でも、ボランティアグループに所属したり、国際交流協会の登録ボランティアとして活動したりする方などがたくさんいます。本書では、日本語ボランティアの活動は、教える・教えられるという関係の中で行われるものではなく、対等な立場で日本語を使った「対話」中心の活動を行い、参加者同士が人間関係を築き、相互理解を深めることにその本質がある、としています。読んでいる人が自分自身の考えを整理するためのタスク、「対話中心の活動」をスムーズに行うためのヒント、日本語ボランティアに関するQ&Aなどがイラストを交えてわかりやすくまとめられています。これから日本語ボランティアを始めようと思っている人や、経験者の方でこれまでの自分の活動を振り返ってみたい人に、是非手に取っていただきたい一冊です。



## サポーターの声

### 久慈安子さん MIAホストファミリー



#### 我が家の家風(両親)を変えたホームステイ

元々我が家はとても保守的&閉鎖的&内向的で、初対面の赤の他人を家の中に入れるなんて完全に不可能なこと!と私以外の家族全員が考えていました。2006年、韓国人学生の受け入れ話が舞い込んだのをチャンスに、両親の説得を開始。結局「お前が全てやること」と条件をつけられました。何とか説得成功。それでも本人が来るまでは、「部屋が狭くないか」「食事はどうするのか」「何を準備すればよいのか」と家族は大騒ぎでしたが、背伸びせず、日常の生活を見せることが学生の望むことであり、受け入れ活動を長続きさせるためにも大事であると言いつづけました。

待ちに待った第一号のゲストは、とても礼儀正しく、何でも食べて、何でも喜んでくれる素直な学生でした。その姿に両親は非常に感激し、感心をし、心配満載だった我が家の受け入れ作戦第一号は大成功に終わりました。

その後は、年2~3回の頻度で受け入れをしています。今では「離れている家族が帰ってくる」程度の楽な感覚で、とてもオープンな家風になりました。母国へ帰った学生たちとは今も連絡を取り合っており、両親は彼らに会うための海外旅行が楽しみの一つになっています。孫のためにも世界が広いことを感じる機会を作りたいという思いもあり、今後は肌の色が違う人、眼の色が違う人など、いろんな人と巡り合う機会があればと考えているようです。

「MIAホストファミリー」とは...

日本の家庭生活を体験したい外国の方のホームステイを受け入れるホストファミリーにご登録いただき、草の根の国際交流を推進していくものです。登録は随時受け付けておりますので、当協会までお問い合わせください。

## 第50号記念! 読者プレゼント

8月19日(木)に行われる「仙台フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会サマーフェスティバル2010」のペアチケットを3名様にプレゼントします。

### 仙台フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会サマーフェスティバル2010

#### リズムdeワールドカップ!! (提供) 仙台フィルハーモニー管弦楽団

第1部 世界を巡るリズム! 第2部 世界で響く「サッカー応援」メロディ!

- 日時: 2010年8月19日(木)19:00開演 (18:15開場) ●会場: 東京エレクトロンホール宮城
- 指揮: 山田和樹 (第51回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝)
- 管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団 ●司会: 三雲茂晴 (ミヤギテレビ・アナウンサー)

お申し込みは、E-mail、FAXまたははがきで。氏名、年齢、住所、電話番号および「仙台フィルのチケット希望」とお書きください。お申し込み先は、宮城県国際交流協会(MIA)まで。住所、FAX番号、アドレスは下記をご覧ください。締め切りは8月12日(木)17時必着。当選者発表は発送をもって代えさせていただきます。

## 賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



### ●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

### ●賛助会員の区分と年会費

個人会員 / 1口 3,000円  
団体会員 / 1口 10,000円

### ●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)  
◎「MIA多言語からわら版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー 仙台支店 (株)ジェイティービー 東北石巻支店 東北海外旅行(株) 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター

### ●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。  
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部 MIA vol.50

編集・発行 財団法人 宮城県国際交流協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail mia@k2.dion.ne.jp URL http://www.h5.dion.ne.jp/mia